

万国の労働者、被抑圧民族団結せよ！

社共にかわる革命的労働者党を創建しよう！

(1980年2月28日第3種郵便物認可)

1998年4月10日

《毎月10日発行》

第201号 2項100円

年間定期購読料（送料込み）

開封1500円／密封2000円

赤旗

共産主義者同盟中央機関紙

1面：「ナイフ事件」の続発に思う

2面：釜ヶ崎春闇

埼玉県新座郵便局私書箱47号

郵便振替：00590-0-20004

（関西）大阪港郵便局私書箱40号

郵便振替：00940-1-132778

少年「ナイフ事件」の続発に思う

和彦山深

本格的武力行使のためのPKO法改悪をゆるすな

「後方地域支援法」制定を粉碎せよ

中学一年生が教師を刺殺した一月の事件は、ブルジョア社会の「教育」体制が機能不全に陥っている事態を明るみに出した。機能不全は、中学校に顕著である。中学生同士の殺傷事件の日常化、「キレ」生徒おののく教師、秩序維持のための教師による暴力支配…。中学生の間で、自衛等のための武装が広がっている。この事態に対して、警察が治安維持の見地から乗り出した。文部省は、反ナイフ・キャンペーンを張つて学校現場に所持品検査を命じた。中教審は、幼稚期から心の教育小委員会・学校の背後にあつた育委員会・学校に対する親子に対する親の支配という社会的仕掛けをも動員し、体制全体の連携した正体を露わにする代償を払つても、子供たちを秩序の内に押さえ込もうといふのである。

ブルジョア階級が「ナイフ事件」の続発に神経質になる根底には、人民が武装する事に対する恐怖がある。

ブルジョア階級にとって民衆

が武装することは、その武装の矛先がいすこに向いていよう。また大した武器でなからうとも、支配階級の地位を脅かす潜在的危険なのである。それに最近の中学生の「ナイフ」等による武装化は、自己の実存の危機から発する根が深い事態であり、「命の大切さ」の大合唱や権力的摘発で阻止できるようなものではない。そして武装は武装

による暴力支配…。中学生の間で、自衛等のための武装が広がっている。この事態に対して、

警察が治安維持の見地から乗り出した。文部省は、反ナイフ・

支配階級は、支配秩序の回復を最優先課題に押し出さざるを得なくなつてゐる。文部省・教

育委員会・学校の背後にあつた

警察が前面に出

子に対する親

の支配といふ社会的仕掛けをも動員し、体制全体の連携した正体を露わにする代償を払つても、子供たちを秩序の内に押さえ込もうといふのである。

ブルジョア階級が「ナイフ事件」の続発に神経質になる根底には、人民が武装する事に対する恐怖がある。

ブルジョア階級にとって民衆

が武装することは、その武装の矛先がいすこに向いていよう。また大した武器でなからうとも、支配階級の地位を脅かす潜在的危険なのである。それに最近の中学生の「ナイフ」等による武装化は、自己の実存の危機から発する根が深い事態であり、「命の大切さ」の大合唱や権力的摘発で阻止できるようなものではない。そして武装は武装

による暴力支配…。中学生の間で、自衛等のための武装が広がっている。この事態に対して、

警察が治安維持の見地から乗り出した。文部省は、反ナイフ・

支配階級は、支配秩序の回復を最優先課題に押し出さざるを得なくなつてゐる。文部省・教

育委員会・学校の背後にあつた

警察が前面に出

子に対する親

の支配といふ社会的仕掛けをも動員し、体制全体の連携した正体を露わにする代償を払つても、子供たちを秩序の内に押さえ込もうといふのである。

ブルジョア階級が「ナイフ事件」の続発に神経質になる根底には、人民が武装する事に対する恐怖がある。

ブルジョア階級にとって民衆

が武装することは、その武装の矛先がいすこに向いていよう。また大した武器でなからうとも、支配階級の地位を脅かす潜在的危険なのである。それに最近の中学生の「ナイフ」等による武装化は、自己の実存の危機から発する根が深い事態であり、「命の大切さ」の大合唱や権力的摘発で阻止できるようなものではない。そして武装は武装

による暴力支配…。中学生の間で、自衛等のための武装が広がっている。この事態に対して、

警察が治安維持の見地から乗り出した。文部省は、反ナイフ・

支配階級は、支配秩序の回復を最優先課題に押し出さざるを得なくなつてゐる。文部省・教

育委員会・学校の背後にあつた

警察が前面に出

子に対する親

の支配といふ社会的仕掛けをも動員し、体制全体の連携した正体を露わにする代償を払つても、子供たちを秩序の内に押さえ込もうといふのである。

ブルジョア階級が「ナイフ事件」の続発に神経質になる根底には、人民が武装する事に対する恐怖がある。

ブルジョア階級にとって民衆

が武装することは、その武装の矛先がいすこに向いていよう。また大した武器でなからうとも、支配階級の地位を脅かす潜在的危険なのである。それに最近の中学生の「ナイフ」等による武装化は、自己の実存の危機から発する根が深い事態であり、「命の大切さ」の大合唱や権力的摘発で阻止できるようなものではない。そして武装は武装

による暴力支配…。中学生の間で、自衛等のための武装が広がっている。この事態に対して、

警察が治安維持の見地から乗り出した。文部省は、反ナイフ・

支配階級は、支配秩序の回復を最優先課題に押し出さざるを得なくなつてゐる。文部省・教

育委員会・学校の背後にあつた

警察が前面に出

子に対する親

の支配といふ社会的仕掛けをも動員し、体制全体の連携した正体を露わにする代償を払つても、子供たちを秩序の内に押さえ込もうといふのである。

ブルジョア階級が「ナイフ事件」の続発に神経質になる根底には、人民が武装する事に対する恐怖がある。

ブルジョア階級にとって民衆

が武装することは、その武装の矛先がいすこに向いていよう。また大した武器でなからうとも、支配階級の地位を脅かす潜在的危険なのである。それに最近の中学生の「ナイフ」等による武装化は、自己の実存の危機から発する根が深い事態であり、「命の大切さ」の大合唱や権力的摘発で阻止できるようなものではない。そして武装は武装

による暴力支配…。中学生の間で、自衛等のための武装が広がっている。この事態に対して、

警察が治安維持の見地から乗り出した。文部省は、反ナイフ・

支配階級は、支配秩序の回復を最優先課題に押し出さざるを得なくなつてゐる。文部省・教

育委員会・学校の背後にあつた

警察が前面に出

子に対する親

の支配といふ社会的仕掛けをも動員し、体制全体の連携した正体を露わにする代償を払つても、子供たちを秩序の内に押さえ込もうといふのである。

ブルジョア階級が「ナイフ事件」の続発に神経質になる根底には、人民が武装する事に対する恐怖がある。

ブルジョア階級にとって民衆

が武装することは、その武装の矛先がいすこに向いていよう。また大した武器でなからうとも、支配階級の地位を脅かす潜在的危険なのである。それに最近の中学生の「ナイフ」等による武装化は、自己の実存の危機から発する根が深い事態であり、「命の大切さ」の大合唱や権力的摘発で阻止できるようなものではない。そして武装は武装

による暴力支配…。中学生の間で、自衛等のための武装が広がっている。この事態に対して、

警察が治安維持の見地から乗り出した。文部省は、反ナイフ・

支配階級は、支配秩序の回復を最優先課題に押し出さざるを得なくなつてゐる。文部省・教

育委員会・学校の背後にあつた

警察が前面に出

子に対する親

の支配といふ社会的仕掛けをも動員し、体制全体の連携した正体を露わにする代償を払つても、子供たちを秩序の内に押さえ込もうといふのである。

ブルジョア階級が「ナイフ事件」の続発に神経質になる根底には、人民が武装する事に対する恐怖がある。

ブルジョア階級にとって民衆

が武装することは、その武装の矛先がいすこに向いていよう。また大した武器でなからうとも、支配階級の地位を脅かす潜在的危険なのである。それに最近の中学生の「ナイフ」等による武装化は、自己の実存の危機から発する根が深い事態であり、「命の大切さ」の大合唱や権力的摘発で阻止できるようなものではない。そして武装は武装

による暴力支配…。中学生の間で、自衛等のための武装が広がっている。この事態に対して、

警察が治安維持の見地から乗り出した。文部省は、反ナイフ・

支配階級は、支配秩序の回復を最優先課題に押し出さざるを得なくなつてゐる。文部省・教

育委員会・学校の背後にあつた

警察が前面に出

子に対する親

の支配といふ社会的仕掛けをも動員し、体制全体の連携した正体を露わにする代償を払つても、子供たちを秩序の内に押さえ込もうといふのである。

ブルジョア階級が「ナイフ事件」の続発に神経質になる根底には、人民が武装する事に対する恐怖がある。

ブルジョア階級にとって民衆

が武装することは、その武装の矛先がいすこに向いていよう。また大した武器でなからうとも、支配階級の地位を脅かす潜在的危険なのである。それに最近の中学生の「ナイフ」等による武装化は、自己の実存の危機から発する根が深い事態であり、「命の大切さ」の大合唱や権力的摘発で阻止できるようなものではない。そして武装は武装

による暴力支配…。中学生の間で、自衛等のための武装が広がっている。この事態に対して、

警察が治安維持の見地から乗り出した。文部省は、反ナイフ・

支配階級は、支配秩序の回復を最優先課題に押し出さざるを得なくなつてゐる。文部省・教

育委員会・学校の背後にあつた

警察が前面に出

子に対する親

の支配といふ社会的仕掛けをも動員し、体制全体の連携した正体を露わにする代償を払つても、子供たちを秩序の内に押さえ込もうといふのである。

ブルジョア階級が「ナイフ事件」の続発に神経質になる根底には、人民が武装する事に対する恐怖がある。

ブルジョア階級にとって民衆

が武装することは、その武装の矛先がいすこに向いていよう。また大した武器でなからうとも、支配階級の地位を脅かす潜在的危険なのである。それに最近の中学生の「ナイフ」等による武装化は、自己の実存の危機から発する根が深い事態であり、「命の大切さ」の大合唱や権力的摘発で阻止できるようなものではない。そして武装は武装

による暴力支配…。中学生の間で、自衛等のための武装が広がっている。この事態に対して、

警察が治安維持の見地から乗り出した。文部省は、反ナイフ・

支配階級は、支配秩序の回復を最優先課題に押し出さざるを得なくなつてゐる。文部省・教

育委員会・学校の背後にあつた

警察が前面に出

子に対する親

の支配といふ社会的仕掛けをも動員し、体制全体の連携した正体を露わにする代償を払つても、子供たちを秩序の内に押さえ込もうといふのである。

ブルジョア階級が「ナイフ事件」の続発に神経質になる根底には、人民が武装する事に対する恐怖がある。

ブルジョア階級にとって民衆

が武装することは、その武装の矛先がいすこに向いていよう。また大した武器でなからうとも、支配階級の地位を脅かす潜在的危険なのである。それに最近の中学生の「ナイフ」等による武装化は、自己の実存の危機から発する根が深い事態であり、「命の大切さ」の大合唱や権力的摘発で阻止できるようなものではない。そして武装は武装

による暴力支配…。中学生の間で、自衛等のための武装が広がっている。この事態に対して、

警察が治安維持の見地から乗り出した。文部省は、反ナイフ・

支配階級は、支配秩序の回復を最優先課題に押し出さざるを得なくなつてゐる。文部省・教

育委員会・学校の背後にあつた

警察が前面に出

子に対する親

の支配といふ社会的仕掛けをも動員し、体制全体の連携した正体を露わにする代償を払つても、子供たちを秩序の内に押さえ込もうといふのである。

ブルジョア階級が「ナイフ事件」の続発に神経質になる根底には、人民が武装する事に対する恐怖がある。

ブルジョア階級にとって民衆

が武装することは、その武装の矛先がいすこに向いていよう。また大した武器でなからうとも、支配階級の地位を脅かす潜在的危険なのである。それに最近の中学生の「ナイフ」等による武装化は、自己の実存の危機から発する根が深い事態であり、「命の大切さ」の大合唱や権力的摘発で阻止できるようなものではない。そして武装は武装

による暴力支配…。中学生の間で、自衛等のための武装が広がっている。この事態に対して、



ひびけ沖縄のこころ 関西のつどい (3月22日)

三月二十二日、大阪・中之島公会堂において「命どう宝」基地はいらないひびけ沖縄のところ関西のつどいが開催された。集会には約二千名が参加、集会の後にはアメリカ領事館前を通る「ビースウォーク」を展開した。主催は、九五年に発足した「米兵の暴行糾弾・沖縄とともに基地撤去をめざす関西連絡会」が中心となる実行委員会で、三度目の中之島公会堂を埋め尽くす三月集会となつた。

集会では、主催者より「関西連絡会」代表の太田隆徳弁護士が挨拶を行つた。続いて、名護越冬闘争から継続してたたかれた「基地反対対策協議会」の宮城保氏が名護市の住民投票運動と基地反対運動の現地報告。

金ヶ崎センターオープンを2月末まで貫徹

反失連として二月二十三日、センター夜間開放終了後の対策要求を府・市に対して約八十名の仲間の結集で提出した。

要求は、センター開放はあくまで緊急対応でしたがないこと

を踏まえ、①九八年度予算であり

りりん地区)緊急失業対策を制

度化せよ、②高齢者就労対策を

拡大せよ、の根本的課題を突き

出し、緊急課題として①セン

ターに代わる「寝場所」を、②乾

パンに代わる「食」を、③就労

拡大につながる「仕事」を求める

ものである。

三月二日、約三百名の隊列で

府市の回答を求めた。回答は、「寝場所」「食」「仕事」についてい

ずれも現状以上の水準のもので

はない、わずかに今年度緊急対

策として臨時に入れ込んだ分は

九八年度として予算化していく

という前進を見ただけであつた。昨年に比し一ヶ月余りセン

ターを延長開放させ、緊急時の

対応をかちとり、昨年度を上回

手にしてセンター開放闘争は二

月末で終了した。

ひびけ沖縄のこころ 関西のつどい (3月22日)

三里塚において反対同盟青行の相川勝重氏が芝山町長となり、一坪共有地の解消を呼びかける声明を出している。

声明

私たちは一坪共有地を守り抜く

私たちは、現在政府が押し進めようとしている成田空港拡張計画の用地内、木の根と東峰部落の二箇所にある一坪共有地の権利者です。三里塚農民の空港反対運動に共鳴し、闘いを共にしてきた私たちは、十五年前、現地反対同盟との盟約の下に、空港反対闘争の勝利をめざしてこれらの土地の共有者となりました。従って、この土地と権利の扱いについては、あくまでも現地反対同盟の意思と要請に基づいて対処すべきものと考えています。それは、政府の側がシンポ・円卓会議の成果の延長線上に今後現地で実施する諸施策を見極め、拡張計画の断念に至るその具体的な事実によって、反対同盟が空港反対闘争の勝利を宣言し、私たち共有者に対して、権利の返却、共有地の解消を要請された時という意味です。その時まで、私たちは反対同盟との盟約を守り、この一坪共有地の権利を手放すつもりのないことをここに宣言します。

1998年2月8日

関西在住一坪共有者一同

2版 ひびけ沖縄のこころ 関西のつどい 2000名がビースウォーク

3大

三月二十二日、大阪・中之島公会堂において「命どう宝」基

地はいらないひびけ沖縄のこ

ころ関西のつどいが開催さ

れた。集会には約二千名が参加、

集会の後にはアメリカ領事館前

を通る「ビースウォーク」を展開

した。主催は、九五年に発足し

た「米兵の暴行糾弾・沖縄と

もに基地撤去をめざす関西連絡

会」が中心となる実行委員会で、

三度目の中之島公会堂を埋め尽

くす三月集会となつた。

集会では、主催者より「関西連絡会」代表の太田隆徳弁護士

が挨拶を行つた。統いて、名護

い抜かれている金ヶ崎での緊急

越年闘争は、三月末までのセ

ンター夜間開放をたたかい取り

進められてきた(前号既報)。

反失連として二月二十三日、

センター夜間開放終了後の対策

要求を府・市に対して約八十名

の仲間の結集で提出した。

要求は、センター開放はあく

まで緊急対応でしたかないこと

を踏まえ、①九八年度予算であり

りりん地区)緊急失業対策を制

度化せよ、②高齢者就労対策を

拡大せよ、の根本的課題を突き

出し、緊急課題として①セン

ターに代わる「寝場所」を、②乾

パンに代わる「食」を、③就労

拡大につながる「仕事」を求める

ものである。

三月二日、約三百名の隊列で

府市の回答を求めた。回答は、「寝場所」「食」「仕事」についてい

ずれも現状以上の水準のもので

はない、わずかに今年度緊急対

策として臨時に入れ込んだ分は

九八年度として予算化していく

という前進を見ただけであつた。昨年に比し一ヶ月余りセン

ターを延長開放させ、緊急時の

対応をかちとり、昨年度を上回

手にしてセンター開放闘争は二

月末で終了した。

ひびけ沖縄のこころ 関西のつどい (3月22日)

約単価も同様の傾向であること、③飯代では、統一単価(飯代三千円以内)を守っているのが六九%に過ぎない実態が明らかになった。金日労は三月四日、第一回の春闘討論集会を約六十名の参加で開き、要求を確認していった。

春闘要求は、「求人登録制、統

一単価を守り抜く」という点に

絞り込まれた。金ヶ崎の日雇労

働市場の防衛を軸としたもので

ある。

バブル崩壊一九〇年代大不況

の構造化の中で、ゼネコン倒産

から金融機関の崩壊にいたる大

不況、大失業情勢の煮詰まりの

中で、金ヶ崎は日雇労働市場と

して存在の危機に直面してい

る。

一方で、九八年度予算の公共

事業費を前年度比七・八%カッ

トし、ゼネコンの上からの淘汰

とし、ゼネコンの上からの淘汰

とし、ゼネコンの上からの淘汰